

H28年度自己評価・年間反省

保育園から認定こども園に変わり、改めて普段の保育を見直す一年になりました。

6月には、園内研修で「運動あそびからの発達支援」の講習を全保育士が受けました。

普段の保育の中で感じていた「気になる子ども」の原因と、どうアプローチしていくべきかを学び、全保育士が同じ認識で取り組む事が出来ました。

毎月1回ずつ子どもにも体育指導を行い、楽しくあそびながら発達を促す運動をたくさん経験しました。指導の後は各クラス担任が指導員とミーティングを持ち、気になる子どもへの働きかけや、遊びを行う上で気を付けるポイントを学びました。

体育指導を通して、子どもたちの発達は確実に進み、保育士は運動の意味を理解して、自信を持って指導できるので、この取り組みはとても良かったと思います。来年以降も続けていきたいと思います。

行事では、今年度、発表会を、ばら、つぼみと以上児に分けて、二部構成でやってみました。一部と二部の入れ替えが、入り口が狭いためうまくいかず時間が掛かりましたが、二部に分けることには賛成意見が多くかったです。今年の反省を基に来年は各クラス毎に、四部構成を予定しています。いいやり方が確立するには何年かかるかと思いますが、保護者や保育士と話し合いを持ちながら、いい方法を見つけていきたいと思います。

複数担任のため、それぞれの保育に関する考え方には温度差があり意見が分かれることもありましたが、話し合いを持ちお互いの意見を交換することで、クラスの方向を一つにすることができます。

一年間、大きな事故や苦情はありませんでしたが、小さなヒヤリハットを見逃さず、その都度改善、注意していきたいと思います。